

おOMAMEDEマメで

飯田にももうすぐ、
桜色の優しい季節がやってくるね。
風が運んでくれる小さな幸せを
見逃さないようにしなくちゃ。



マメ太郎 マメ子
飯田市社協公式イメージキャラクター

2026

3

No.128



令和7年度 高校生ボランティアワークキャンプ ～復興期の被災地から学ぶ地域支援とボランティア活動～

飯田市社会福祉協議会

この情報誌は皆様からの社協会費で発行されています。

ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram





未来を創る若者たち 能登町で学んだ「支え合い」の形

飯田市社会福祉協議会は、災害と地域福祉を考える活動の一環として「高校生ボランティアワークキャンプ事業」を実施しました。飯田下伊那の高校生16名が参加し、事前・事後学習のほか、8月には石川県能登町での現地学習を行いました。

現地での活動内容

令和7年8月7日(木)～8日(金)

1日目

能登町仮設住宅うかわ団地を訪問。自治会役員の皆さんから震災当時の様子や、現在の避難生活の状況について詳しくお話を伺いました。

2日目

交流サロン「かんまちカフェ」にて運営ボランティアとして参加し、住民の皆さんと交流しました。また、能登町社協や地域ささえあいセンターの方々から、被災地の課題や支援の取り組みを学びました。



高校生たちの声

2日間の現地活動を通じ、参加した高校生たちは災害の厳しさと、地域で支え合う大切さを肌で感じました。

現地で感じたこと

- 現地の方はみんな笑顔で温かったです。支える側も辛い思いをしているのに笑顔で接していてすごいと思いました。
- 被害にあった方は「大丈夫」と口にするが、その「大丈夫」の裏に隠されたSOSを、表情や会話の中の些細な言葉から見つけ出すとお聞きして、非常に難しいことだと感じました。
- 相談員さんは被災された方と話す際に笑顔を心掛けていると思っていましたが、「平常・普通」を大切にしていると聞きびっくりしました。
- 鵜川団地の方からのお話の中で3日分の水、食料は備えておくことの必要性を感じました。ですが、今回の学びを通して支援は物やお金だけでなく、人とのつながりが大きな力になることを学びました。

これからの目標

- 自分ができることは小さくても、行動することに意味があると感じました。今回被災地の皆さんから教えていただいたことを家族や友人に伝えていくことで、地域の方に防災意識を持ってもらい、少しでも悲しい思いをする人を減らしたいです。
- 防災グッズの用意や災害対策を学び、今後の災害に備えたいと思いました。
- 将来大きな機械を扱っている職場で働きたいと考えています。その職場で災害が起きた際、大きな被害が出ると考えられます。一緒に働いている仲間を助けることや守ることができるよう、今回の体験を活かしたいです。
- 将来、消防士になりたいという夢があります。今回学んだことを活かして、災害時に活躍できる消防士になりたいです。



赤い羽根共同募金



令和7年度の共同募金運動は、令和7年12月31日をもって終了いたしました。募金にご協力いただきました寄付者の皆様をはじめ、募金推進にご尽力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

令和7年度募金報告 募金額 10,773,834円

《募金内訳》

募金種別	募金実績額	御協力いただいた皆様
戸別募金	7,558,431円	市内全地区の皆様
法人募金	2,279,500円	市内企業844社の皆様
街頭募金	532,181円	飯田市赤十字奉仕団 ボランティア団体 学生ボランティアの皆様 募金をお寄せいただいた皆様
学校・ 職域募金	201,844円	飯田西中学校・飯田東中学校 旭ヶ丘中学校・竜東中学校 下久堅小学校・伊賀良小学校 下伊那農業高校 市役所関係機関職員の皆様 飯田商工会議所の皆様 窓口で募金をお寄せいただいた皆様 飯田市社会福祉協議会職員
その他 (歳末たすけあい募金・赤い羽根共同募金自動販売機)	201,878円	飯田下伊那理容師会・飯田仏教会 元善光寺婦人会・木下工業 飯田子供の園保育園 赤い羽根共同募金自動販売機をご利用の皆様
合計	10,773,834円	

街頭募金にもご協力いただき、
ありがとうございました。



街頭募金活動では多くの皆さんから募金をしていただきました。学生ボランティアさんも参加！募金活動を盛り上げてくれました。

飯田市内・県内の福祉事業へ配分させていただきます

- ◎まちづくり委員会等で行う事業（敬老会、サロン活動、研修会等）
- ◎民間福祉施設へ備品購入の助成
- ◎ボランティア団体・当事者支援団体等への事業助成
- ◎市内小中学校（特別支援学級設置校）へ歳末激励金
- ◎長野県共同募金会が行う広域事業（災害準備金等の積立、高齢者・障がい者移送車輛等の整備 他）

ありがとうメッセージ

南信濃地区 敬老祝賀事業

88歳を迎える皆様を対象に、盛大に敬老祝賀事業を開催できました。参加された皆さんにはお祝いの品もお贈りし、喜んでいただきました。ありがとうございました。



旭ヶ丘中学校 生徒会福祉委員会の取組み

12/10～12/16の朝の時間帯に昇降口にて、先生・生徒の皆さんを対象に生徒会福祉委員会の皆さんが募金活動を実施してくださいました。集まった募金は、地域の福祉活動に役立てられます。

ありがとうメッセージ

放課後デイサービス ちゃっぷりん ビーズクッション・絵本棚の購入

子どもたちが安心してくつろぎながら、大好きな絵本をゆっくり選ぶことができる環境になったと思います。子どもたちからは「図書館みたいに本を選べて楽しい!」「本がとっても見やすいね!」といった感想が聞かれました。



地域の皆さまのあたたかいご協力本当にありがとうございました。

詳しい使いみちは赤い羽根共同募金のホームページをご覧ください。 <https://www.akaihane.or.jp/>

第69回 飯田市社会福祉大会 および 令和7年度 地域福祉活動推進研修会

去る令和7年12月13日(土)に「飯田市社会福祉大会」および「地域福祉活動推進研修会」を
 鼎文化センターにて合同開催しました。紙面にて会の様子をご紹介します。

当日の様子をYouTubeでご覧いただくことができます。ぜひご覧ください。

動画視聴方法① ホームページから視聴する場合

社協のトップページにある「お知らせ」に掲載している「第69回飯田市社会福祉大会および令和7年度地域福祉活動推進研修会の開催報告」から、動画をご覧いただけます。

動画視聴方法② 二次元コードから視聴する場合

スマートフォンのカメラで、右の二次元コードを読み取ってください。

[飯田市社協YouTubeチャンネル▶](#)



第69回 社会福祉大会 表彰者の皆様

下記のとおり、表彰者の皆様に顕彰いたします。
 受賞おめでとうございます。(五十音順・敬称略にて)

特別功労者表彰

●名誉大会長表彰

久保田孝子(三穂)	澤柳八重美(上郷)
関島 学(鼎)	滝澤 恵子(丸山)
松枝 とも(上久堅)	

●大会長表彰

池田謙一郎(鼎)	伊藤みず穂(龍江)
近藤 英子(松尾)	椎谷千津子(座光寺)
戸谷えり子(下久堅)	仲井 武夫(上村)



岡田 紀子(上郷)	熊谷 幸穂(上村)
嶋崎 成人(山本)	鈴木 貴子(鼎)
福岡 荘二(鼎)	矢澤 信(橋北)

感謝状表彰

池田 照(下久堅)	片桐 澄子(橋北)	木下 菊子(三穂)	中山 卓治(下久堅)
成瀬 繁子(松尾)	萩原 淳子(下久堅)	羽場 健治(下久堅)	原 昌子(橋北)

ご寄付をいただいた皆様(ご紹介)

飯田花卉組合
 飯田市ボランティアセンター
 飯田市立浜井場小学校
 飯田信用金庫職員会青年部
 飯田信用金庫創立100周年記念しんきん各店対抗ゴルフチャリティゴルフ大会
 伊賀良ボランティアグループ
 いきいき広場参加者
 エンジョイオブソング会
 大野 敦
 株式会社おさひめコーポレーションカーブス事業部

金光教飯田教会
 JAみなみ信州女性部上郷支部
 シチズン時計マニファクチャリング株式会社 飯田殿岡工場
 第60回南信カップチャリティゴルフ大会実行委員会
 株式会社中村
 三菱電機株式会社中津川製作所飯田工場
 ユニー株式会社“小さな善意で愛の輪”運動 アピタ飯田店
 若林 麻紀
 匿名4名

令和7年度 地域福祉活動推進研修会を開催

テーマ 地域で育む助け合い

今年度の研修会は、松本大学の尻無浜博幸教授をコーディネーターに迎え、災害時の助け合いや日頃の支え合いについて考えました。

会場では、高校生による被災地支援報告や、橋北地区及び上久堅地区から実践事例が発表され、テーマである「地域で育む助け合い」について学びを深めました。

高校生ボランティアが能登町での学びを報告

8月7、8日の1泊2日で飯田下伊那の高校生16名が石川県能登町を訪問しました。地震や豪雨の津波被害を受けた住民の方々や能登町社協職員との交流を通じ、ボランティア活動に参加。

参加した高校生は、「日頃からの備えと、皆で支え合える地域づくりの大切さを実感した」と語り、この経験を将来に活かしたいと力強く発表してくれました。(訪問の様子は2面をご覧ください。)



講演・シンポジウム『地域で育む助け合い』

《講師》松本大学総合経営学部 教授 尻無浜 博幸氏



「地域で育む助け合い」をテーマに、地域福祉課題の現状と地域共生社会に向けた地域での取り組みを紹介していただき、今後の飯田市における地域福祉活動のヒントをいただきました。



《シンポジウム》地区の個性を活かした「支え合い」の事例発表

シンポジウムでは、2地区から具体的な取り組みが紹介され、その後シンポジウム・コーディネーターの尻無浜氏から講評をいただきました。

橋北地区健康福祉委員会 委員長 小林 峰子氏
社協地域福祉コーディネーター
橋北地区担当 宮田 朱香

橋北地区独自の福祉活動の取り組み（にこやか健康教室、福祉講演会、地域福祉連絡検討会、車を使った支え合い活動）について、活動のきっかけや現状、課題等を発表いただきました。健康福祉委員会の皆さんが一つひとつの活動を丁寧に取り組んでおられ、また地域福祉コーディネーターが健康福祉委員会の皆さんに対して、日頃から寄り添った支援をしています。

上久堅地区健康福祉委員会 会長 椎名 佑平氏
社協地域福祉コーディネーター
上久堅地区担当 中村 礼子

地域福祉コーディネーターによる学習会がきっかけとなり、地区内のごみ出しの課題に対して事業を立ち上げることになりました。住民支え合いマップの更新とあわせて令和6年度にニーズ調査を行ったうえで、今年度から「ごみ出し支援事業」を開始しました。今後の事業定着と協力者の拡大に向けて、地域福祉コーディネーターとともに細やかな対応を進めています。



第11回

障がい者文化芸術作品展



令和7年10月22日(水)～10月26日(日)

開催場所

優秀作品の展示場所

飯田市美術博物館

飯田市勤労者福祉センター、飯田市役所、丘の上結いスクエア

今年で11回目となる障がい者文化芸術作品展。飯田市内に在住、またはお勤めされている障がいのある方々が出展されました。その中でも受賞された作品をご紹介します。

実行委員長賞



「水面(みなも)」
武田 あゆみ

優秀賞



「Four seasons」
Lサポート

優秀賞



「秋のモビール「とんぼ」」
あゆみ園 アート班

優秀賞



「悠久の慈愛」
遠山 弘子

優秀賞



「ふぐ」
今村 清司

優秀賞



「波長」
増田 初美

優秀賞



「日本にひとつだけのバリケード」
平澤 生路



社会福祉士・介護福祉士になりたい学生の皆さん 社協の奨学金がおすすすめです!

社協に5年勤務 ▶ 全額免除

飯伊事業所に5年勤務 ▶ 半額免除

年間貸与額

72万円

返済免除
制度あり

詳細は下記までお問い合わせください

飯田市社会福祉協議会 総務課

飯田市東栄町3108-1 さんとぴあ飯田2階 ☎0265-53-3040



社協HP



応募締切 4月30日

広告



訪問看護ステーション オリーヴ

退院後の体調やご家族の介護に不安がある方へ

- 看護師がご自宅での療養生活をサポートします
- 通所が難しい方にも理学療法士などがご自宅でリハビリを提供しています



介護保険・
医療保険
対応

飯田市毛賀1627

電話 0265-54-1553

営業時間 平日:8時半から16時半



一緒に地域を支える

高校生ボランティア

まごの手

まごの手とは??

飯田下伊那に住むそれぞれ違う学校や学年の高校生たちが集い、地域イベントや福祉施設などでボランティア活動を行っています。

まごの手の活動は飯田市ボランティアセンターの事業として平成28年度より立ち上がり、ボランティア活動を通じて、地域とのつながりや福祉への関心・理解を深めることを目的としています。

現在、市内3校から21名の高校生が登録しています。



今年度の活動の様子!

今年度は、ぼおの日曜日や24時間テレビ チャリティーイベントでの街頭募金活動、橋南夏休み子ども教室や松尾図書館お楽しみ会など、地域イベントのボランティア活動に参加しました。

また、新聞紙でゴミ箱を作成し、いいだデイサービスセンターへ寄贈したほか、北部デイサービスセンターへ訪問し、レクリエーション活動を行いました。



定期的にミーティングを開催しています!

参加したボランティア活動の振り返りや今後どんなボランティア活動をしてみたいかなど、ミーティングを行っています。



『まごの手』の高校生から

ムトスに掲載されていたポスターから「まごの手」を知り、活動するようになりましたが、大正解でした!「まごの手」で活動するようになったことで、子どもから高齢者まで、自分の住む地区からそれ以外の地区まで、関わる人の輪を広げることができました。さらに仲間を増やして一緒に活動していきたいです! 皆さんの参加、お待ちしております!



「まごの手」でのボランティアを通じて、人と関わることの温かさを感じることができました。「まごの手」では、地域の皆さんとの関わりを自身の糧としながら、無理のない範囲でボランティアの経験ができます。幅広い年代の方と楽しく交流できる機会にもなるので、興味がある方は一緒に活動しましょう!

ボランティア活動に対してボランティア修了証を発行いたします。

無理のない範囲で、ボランティア活動に参加してみませんか?

「ボランティアに興味がある!」「地域のために何かしてみたい!」という飯田下伊那の高校生みなさん! 参加希望の方は、二次元コードまたはLINEで『@848fhbsq』と検索して、まごの手の公式LINEへ!

一緒にボランティア活動しませんか??





学校法人 高松学園

飯田短期大学のページ

IIDA JUNIOR COLLEGE

飯田短期大学の先生方から、短大や講座のこと、
日常に役立つ情報などを紹介していただきます。



介護福祉専攻では、地域の介護現場で活躍する介護福祉士を養成しています。学生の実習の際は、地域の皆様や事業所の皆様に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。利用者の皆様の幸せを支えられる介護福祉士を目指し、学生一人ひとりが様々な体験を積み重ね、実践に生かせる多くの「引き出し」を身につけさせていきたいと考えています。

いいたんに、 社協がやってきた!!

1月より、「飯田市社会福祉協議会」のまつお地域包括支援センターおよび社協居宅介護支援センターが本学内で事業を開始しました。これに伴い、介護福祉専攻1年生が社会福祉協議会を見学し、地域に根ざした支援について理解を深めました。



社会福祉協議会を見学

見学を終えて

1年 米山 日和

学校内に社会福祉協議会があることは、福祉を学ぶ私たちにとって、地域福祉をより身近に感じることができると感じました。社協の様子を実際に見学することで、授業で学んだ知識を現場の実践と結びつけてイメージしやすくなり、理解を深めることにつながると感じました。また、職員の方々の仕事の様子を見学できたことで、将来、専門職を目指すという意識も高まりました。さらに、地域で行われているボランティア活動に興味を持つきっかけとなり、参加へのハードルも低くなると感じました。今後は、社会福祉協議会の皆さんとの交流や見学を通して、地域福祉についての理解をさらに深めていきたいです。



興味津々...

災害時の介護について

1年 井上 拓弥

災害時における介護福祉士の役割について学ぶ授業があります。授業の中で、「災害時であっても、そこに生活する人がいる限り、介護福祉士の役割は存在する」ということを学びました。避難所での生活を支えるためには、食事の支援が欠かせません。そこで、パッククッキングを用いて、高齢者や障がい者にも食べやすい献立を考え、実際に調理を行いました。また、段ボールベッドの組み立て体験を通して、避難所での生活環境についても学びました。この授業を通して、災害時であっても人々の生活は変わらず続いており、支援が必要であることを実感しました。将来、介護福祉士になったときには、どのような状況下においても生活を支える専門職として、人々の暮らしを守る存在でありたいと強く感じました。



段ボールベッドの組み立て



パッククッキングに挑戦

ひとねる、ひとなる

思春期ただなかの息子たちを育てるワーキングママ「あっちゃん」が、日々思っていることをつづります。趣味のハンドメイドから生まれた日常遣いのアイデアもご紹介。

こたつとハイタッチ



「こたつは人をだめにする」とはよく言ったものだ、ということを感じている日々です。

職場から仕事を持ち帰りますが、取り掛かるのは全ての家事が終わった夜遅く。正直、くたくた。体力の限界まで頑張って遅くに寝るか、先にちよっと仮眠して夜中に起きてやるか：毎晩同じことで迷いつつ、食事が終わった食卓にパソコンを置いて仕事のセッティングまではするのです。：問題はここから！

我が家は食卓のすぐ隣にこたつがあります。長方形なんです。身体がちよっといい塩梅にまるっと入ってしまうのです。こうなると「ちよっと休憩」と言ってもぐり、そのまま寝落ちしてしまうのが日々の「日課」になってしまいました。こたつの魔力、恐るべし。頭では「だめだ、だめだ」と必死に抗っているのですが、それができないから魔力なのです。

「母はちよっと休憩する」と宣言してこたつにもぐり、そのまま寝落ち。息子たちはその横で宿題を済ませ、「母ちゃ、俺もう寝るわ」と言って寝室に行きます。必ず声をかけてくれるのです。そしてハイタッチ。最近は「電気消す？」とまで聞いてくれます。

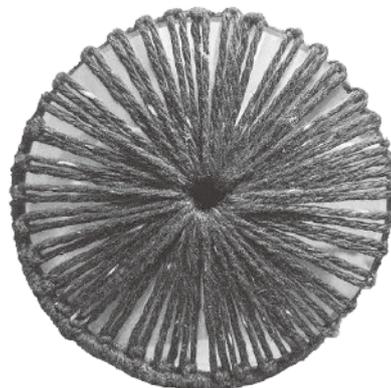
：本当はもうちよっとシャキッとした母を見せてあげたいのですが、子どもたちの優しさに甘える今日この頃です。

もう使わないCDを底板にした



円柱小物入れ

CDで音楽を聴かなくなりました。捨てるのも忍びないし…とっていたら、インターネットでナイスアイデアを見つけました。CDとかぎ針でちよっとおしゃれな小物入れができました。いろんな色の糸を使って色違いを量産するのも楽しそうです。



*POINT

CDに細編みを入れた底板。できるだけ均等になるように調整するのがポイント

- 【材料】
- CD 1枚
 - 毛糸
 - 毛糸に合ったサイズのかぎ針

- 【作り方】
- ① CDの中央の穴を利用して、細編みを放射線状に入れる。目数は側面の編み方による。模様編みにしてもいいし、増減なしの細編みでも可愛い。
 - ② 側面を編み上げていく。増減なしの細編みならば、北欧の食器メーカー「イッタラ」のように、頻りに色を変えてカラフルな縞模様にするのもおすすめ。写真の小物入れは細編み1目+鎖編み1目を繰り返している。

「身寄り問題」を考える

南信州成年後見地域連携ネットワーク研修会 開催

令和7年12月19日、身寄りなし問題研究会から須貝秀昭先生をお招きし、「〈身寄り〉問題を考える」をテーマに研修会を行いました。

看護師、救命救急士、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保護司、新潟着物男子部部长など多彩な経歴をお持ちの先生が、身寄り問題のリアルとその課題を整理してお話ししてくださいました。また持ち前の発想力と行動力で実践されている、様々なソーシャルアクションの紹介もありました。

今回、会場・リモート合わせて119件のお申込みがありました。受講した方からは「発想を転換できるような興味のある研修だった。」「価値観を変え、今の時代を受け入れ、暮らしやすい地域を作っていきたい。」「先生の明るいエネルギーに驚き、話に引き込まれた。また話を聞いてみたい。」など感想が寄せられ、大変有意義な学びの場となりました。

参加して下さった皆様、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

当日の研修会の様子を、飯田市社会福祉協議会ホームページでYouTube動画にアップしておりますので、「研修会に参加できなかった」「もう一度話を聞きたい」という方はぜひご覧ください。



飯田市社協YouTubeチャンネル▶

〈お問い合わせ先〉 いいだ成年後見支援センター TEL 0265-53-3187 / FAX 0265-53-3183

おまめ de クイズ

ご応募締切
4/30

129号の誌面に
クイズの答え・
当選者の発表を
行います。



社協報「おまめで」128号の中からクイズです。答えと下記の要項を添えてぜひご応募ください。クイズに正解された方の中から抽選で5名にQUOカードをお贈りします。



128号クイズ

1. 「高校生ボランティアワークキャンプ」高校生は2日間、どこの県に行ったでしょうか？ ヒント：1・2面
2. 飯田短期大学内に新しく開設された「○○○地域包括支援センター」。○○○はどこでしょうか？ ヒント：12面

127号 クイズの答え

☑️ パン

多くのご応募ありがとうございました！

当選された方
牧内 洋様(東野)
土本 正伸様(山本)
村澤 健志様(県)
ベンジャミン様(県)
北原 直美様(上郷)

応募方法は2通り! ※いずれの場合も応募要項をご記入ください。

〈ハガキで応募〉

〒395-0024
飯田市東栄町三〇八一
飯田市社協
「おまめで」編集委員会 行

※応募要項

- ①クイズの答え
- ②郵便番号
- ③住所
- ④氏名
- ⑤年齢
- ⑥「おまめで」の感想

〈メールで応募〉

メール作成フォームから応募!



omamede@iidashakyo.or.jp

※ご応募の際にいただいた個人情報はプレゼント発送以外には使用いたしません。
※匿名表現でご感想を次回号に掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。

フードドライブ

ご協力ありがとうございます。
ご寄付御礼 11月・12月 (順不同・敬称略)

フードドライブとは、家庭や事業所等で余っている食品を持ち寄り、福祉団体や施設、必要な世帯へ寄付するボランティア活動です。

【団体・企業】

- 座光寺自治振興センター
- 山本自治振興センター
- 鼎自治振興センター
- 下久堅自治振興センター
- 松尾自治振興センター
- 飯田市役所
- (株)トヨタレンタリース長野 飯田インター店
- 国際ソロプチミスト飯田
- (株)トーエネック 飯田営業所
- 国土交通省中部地方整備局 飯田国道事務所
- 小川技研
- あずさ販売(株)
- 井坪ビジネス(株)

- JAみなみ信州女性部松尾支部

【学校】

- 下伊那農業高等学校



下伊那農業高校 稲丘祭 PTA

【もぐもぐさぽーたー協力企業】

- 長野メディカルフーズ(株)
- 大萬(株)
- (株)ちさと東
- (株)霧しな
- 綿藤トキワフーズ(株)
- (有)丸イ伊福屋商店

【その他】

- 飯田下伊那にお住まいの皆様

フードドライブ受付のご案内

受付日時 平日8:30~17:30

受付場所

- 飯田市ボランティアセンター
飯田市東栄町3108-1さんとぴあ2階
TEL 0265-53-3182
- 飯田市内ファミリーマート 4店舗
(飯田鼎切石店・東かなえ店・飯田丸山店・飯田上郷黒田店)
- トヨタレンタリース長野 飯田インター店



おまめの部屋

ボランティアセンター情報



各情報の申し込み・お問い合わせは…

飯田市ボランティアセンター

さんとぴあ飯田 飯田市社協内 TEL 0265-53-3181

募集

令和8年度「まめボラ」活動のお知らせ

『ベルマークの仕分け』

ボランティア参加者募集

日時 毎月第4金曜 13:30~16:00(途中入退室OK)

場所 さんとぴあ飯田 3階 お気軽にご参加ください。

実施

おマメで健康教室

〈毎月1回開催〉



おマメで健康教室は、地域の皆様の自主的なフレイル予防活動を応援するため、「体操」「音楽レク」「手工芸」「脳トレ体操」等、フレイル予防に関わるテーマを中心として、毎月1回開催いたしました。各地区でサロン活動に取り組まれている方や、フレイル予防サポーター、ご自身の健康のために取り組まれている方など今年度も多くの皆様にご参加をいただきました。引き続きフレイル予防の輪を広げていただけるよう、「楽しく学べるフレイル予防」に特化した内容をお届けいたします。どうぞお楽しみに!

案内

ボランティア保険のご案内

令和8年度ボランティア保険の加入受付をしています。ご相談ください。

実施

第2回フレイル予防サポーター
フォロー講座 〈11月25日(火) 開催〉

地域住民が主体となって開催される体操フォロー教室(通所型サービス・活動B)の運営を担うフレイル予防サポーターや、サポーター養成講座の修了者を対象に、今年度2回目となる「フレイル予防サポーターフォロー講座」を開催しました。「低栄養を防ぐポイント」「認知症についての理解」「フレイル予防としての運動」を学んでいただき、お住いの地区以外のサポーターとの交流会(グループワーク)も行いました。参加者からは、「他地区の状況を知ることができた」「新しい運動のやり方を覚えられた」「認知症について沢山の事が聞けて良かった」などの感想をいただきました。



プルタブで子どもを笑顔に!!

飯田下伊那理容師会加盟店で収集しています



12月8日、飯田下伊那理容師会の皆様が同会に加盟している理容店で寄付金を募り、地域への貢献活動の一環として飯田市共同募金委員会へ歳末たすけあい募金としてお届けいただきました。他にも同会ではアルミ缶などのプルタブを継続的に収集しており、集められたプルタブは「子どもに笑顔と夢を」という目的で、県立こども病院へ絵本やおもちゃをお届けするなどの福祉活動に役立てられています。ご賛同いただける皆様は、同会に加盟している理容店に行かれた際にぜひプルタブをお持ちください。皆様のご協力をお願いします。

【加盟店一覧】 <https://www.nagano-riyo.jp/iidashimoia.htm>

広告

おかげさまで法人化80周年

80th
Years Anniversary

社員一同

+αの精神で、
勇往邁進いたします。

龍共印刷株式会社 TEL 0265-22-5353

天龍の流れと共に。
飯田市上郷黒田121

こんにちは まつお地域包括支援センターです

飯田市では、市内を7つの地域に分け、それぞれに「高齢者の身近な相談所」として地域包括支援センターを設置する計画を進めてきました。

この度、「いいだ地域包括支援センター」から、松尾・下久堅・上久堅地区の担当の事務所を分割移転し、令和8年1月1日、飯田短期大学内に市内7カ所目となる地域包括支援センターとして「まつお地域包括支援センター」を開設しました。

まつお地域包括支援センター 開所式



まつお地域包括支援センターの入口



テープカット
左 短大武分学長 右 社協 原会長

各地区の啓発イベントの様子



松尾地区「健康まつり2025」



上久堅地区「文化祭福祉展示」



下久堅地区「認知症を考えよう」

まつお地域包括支援センターは、飯田市社会福祉協議会が受託運営いたします。社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員の3職種が、様々な相談にチームで対応し、より身近な相談窓口を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、お気軽にお電話ください。また、飯田短期大学との連携として、開所以来、未来の医療・介護を担う学生さんが、相談支援の現場を見学に来てくださっています。(関連記事8面)短期大学内という立地を生かし、先生方や学生さんとの楽しいコラボ企画も考えていきたいと思っております。お楽しみに。

飯田市まつお地域包括支援センター

住所：飯田市松尾代田601番地2
学校法人高松学園飯田短期大学 旧学生寮内
電話：0265-48-6601 FAX：0265-48-6612
Email：matsuo-houkatsu@iidashakyo.or.jp